

鴻巣市議会議員政治倫理審査結果報告

鴻巣市議会議員政治倫理審査結果報告書（抜粋）

令和7年5月21日付けで調査請求のあった件について、
次のとおり審査結果を報告します。



1 請求内容

- (1) 審査対象議員 織田京子議員
- (2) 審査請求の疑義の内容 議長として知るに至った警察の捜査情報を、被疑者に伝えたこと
- (3) 審査請求の疑義の根拠 鴻巣市議会議員政治倫理条例第4条第6号

2 審査結果

(1) 略 (2)（前略）慎重審議の結果、条例第4条第6号では「市民の代表者として、その品位を損なうような行為を慎み、その職務に関して、不正の疑惑をもたれるおそれのある行為をしないこと」と規定されていることから、本案は、不正の疑惑をもたれるおそれのある行為であり、違反しているものと判断した。
(3)（前略）採決の結果、条例第9条第4項第2号^(注)の措置に決定した。

(注) 条例第9条第4項第2号…本会議における謝罪文の朗読

政治倫理条例第7条第1項第2号の規定に基づき、提出された審査請求について、同条例の規定により政治倫理審査会から令和7年12月2日に審査結果の報告書が議長へ提出されましたので、その概要を報告します。議長として「本会議における謝罪文の朗読」を求めましたが、本人は応しませんでした。その後、謝罪すべきとの動議が提出され、可決しましたが謝罪に応じませんでした。可

鴻巣市議会議長 橋本 稔

意見書

議員提出議案第4号「刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める意見書」（原案可決）

「刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める意見書」（抜粋）



冤罪は国家による最大級の人権侵害である。再審制度は三審制で確定した有罪判決に重大な瑕疵がある場合、これを是正し救済する最終手段であり、冤罪発生時に迅速に救うことは国の基本的責務だ。しかし再審規定は昭和24年施行以来70年以上改正がなく、手続は裁判所の広い裁量に委ねられ、審理の適正・公平が制度的に担保されにくい。証拠開示も明文化されず、裁判所ごとに範囲の差が生じる上、過去の冤罪事件では検査機関の手元の証拠が再審段階で初めて明らかになった。さらに再審開始決定後も検察官抗告で手続が長期化する。よって国においてはこれらの課題を踏まえて必要な検討を進めた上で、刑訴法の再審規定（再審法）を速やかに改正することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年12月17日

鴻巣市議会

提出議案とその結果

（令和7年12月定例会）

議会では上程された議案を、所管する4つの常任委員会（政策総務・文教福祉・まちづくり・市民環境）に付託し、審査を重ねます。その上で、本会議で各議案に対する賛成の立場を起立によって表明します。

●次の議案は全会一致で同意・可決されました。

議案番号	議案名
第96号	鴻巣市監査委員の選任について
第97号	財産の取得について
第98号	鴻巣市入学準備金貸付条例及び鴻巣市奨学資金貸与条例の一部を改正する条例
第99号	鴻巣市体育施設条例の一部を改正する条例
第100号	公の施設の指定管理者の指定の期間の変更について（鴻巣市吹上富士見ゲートボール場）
第101号	市道の路線の認定について
第102号	鴻巣市コウノトリ野生復帰センター条例の一部を改正する条例
第103号	公の施設の指定管理者の指定について（鴻巣市産業観光館）

議案番号	議案名
第105号	令和7年度鴻巣市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
第106号	令和7年度鴻巣市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第107号	令和7年度鴻巣都市計画事業広田中央特定土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）
第108号	令和7年度鴻巣市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
第109号	令和7年度鴻巣市水道事業会計補正予算（第1号）
第110号	令和7年度鴻巣市公共下水道事業会計補正予算（第3号）
第111号	令和7年度鴻巣市一般会計補正予算（第7号）
第112号	令和7年度鴻巣市水道事業会計補正予算（第2号）

●賛否が分かれた議案は次のとおりです。

議案番号	議案名	議決結果	会派名（各会派最左が代表者）																			
			新未来こうのす					明誠会				公明党			かいえんたい		こうのす未来		日本共産党		社民党	無所属の会
			小泉 晋史	藤村 孝志	中西 耕一郎	高橋 亞紀	後藤 耕佑	芝寄 和好	金子 雄一	田中 克美	古山 大輔	潮田 幸子	橋本 稔	川崎 葉子	茂利 博之	秋谷 修	大塚 佳之	坂本 国広	金澤孝太郎 織田京子	市ノ川徳宏 竹田悦子	諏訪三津枝 西尾綾子	矢島洋文 健
第104号	令和7年度鴻巣市一般会計補正予算（第6号）	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議 提 第4号	刑事訴訟法における再審規定（再審法）の改正を求める 意見書	原案可決	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
議 提 第5号	衆議院議員定数を削減しないことを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	

●は議案に対して賛成、×は反対、ヰは棄権、欠は欠席 ※議長は採決に加わらず ※並び順は議決順です